

2010(平成22)年5月14日@三重県議会

三重県議会改革に対する評価と課題

三重県議会議会改革諮問会議 第1次答申の意義と課題を中心に

山梨学院大学・江藤俊昭

はじめに

1. 三重県議会議会改革諮問会議の意義 三重県議会議会改革諮問会議の設置、
議会改革の外部評価、大量多様な意見収集からの「客観的」評価

2. 第1次答申の課題と解明できたこと

(1) 検証の方針 議会基本条例第3条基本方針を中心に

(2) 検証のための調査結果概要 大量・多様な調査結果から

(3) 調査結果からみた議会改革の課題

県民：開かれ住民参加を促進する議会へ

行政職員：責任を持って、説明責任をする議会へ

NPO・大学：協働する議会へ

市町議会：議会としての交流を

三重県議会人：議会改革に自信 さらなる議会改革へ

3. 第1次答申の提案

(1) 住民と歩む議会

(2) 執行機関と競争する議会

(3) 討議する議会

(4) 広域自治体の議会

(5) 事務局体制を充実させる議会

(6) 人格を持った議会

4. 最終答申に向けて

むすび

——2つの課題：広域自治体の役割、効率性重視とは異なる地域民主主義に実現